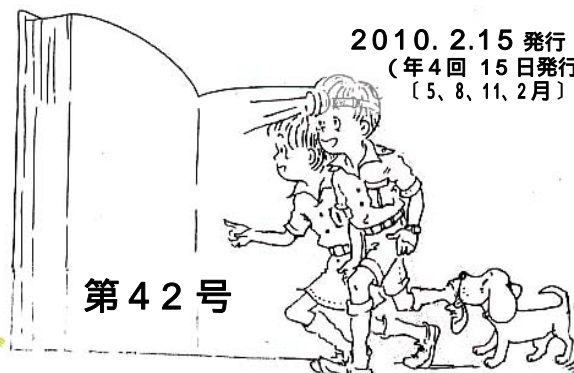


にのみやまちとしょかん 図書館だより

2010.2.15 発行
(年4回 15日発行)
〔5、8、11、2月〕



第42号

特集

記念館・文学館 ~ゆかりの人物をもっと知りたい~

文学者や著名な人物について深く知りたいときの頼もしい存在、記念館や文学館。全国に数多くあるそれらの施設では、ゆかりの品々などによって間近にその人物の息吹を感じることができ、文献では得られない発見があります。

今回の特集では、とくに二宮ゆかりの人物についてスポットをあて、関連の記念館や文学館などを紹介します。

個人記念館

「・・・」はゆかりの人物名、肩書き、図書館だより掲載号

神奈川

徳富蘇峰記念館

二宮町二宮 605
:0463-71-0266

塩崎彦市(徳富蘇峰記念館創設者)30号 徳富蘇峰記念館 27号
蘇峰晩年の秘書である塩崎彦市が、蘇峰から託された膨大な近代史の資料を公開する目的で二宮の自邸内に建てた記念館。

大佛次郎記念館

横浜市中区山手町 113
:045-622-5002

大佛次郎(作家)8号
原稿・創作ノート・愛用品などさまざまな資料を公開。アーチ型の屋根と赤レンガの瀟洒な建物で、神奈川近代文学館に隣接。

長野

古田晁記念館

塩尻市大字北小野 3035-3
:0266-46-2922(0263-54-2741)
休館時 塩尻市立図書館

古田晁(筑摩書房創業者)18号
生家の庭園と土蔵、母屋を一部改修し、親交のあった多くの著名な作家や学者等の書簡や原稿等を展示。塩尻市立の記念館。

窪田空穂記念館

松本市大字和田 1715-1
:0263-48-3440

窪田空穂(歌人・国文学者)6号
平成5年、生家の向かいに開館。作品・書簡・原稿・愛用品や、日本文学・短歌に関する資料を常設。

文学館

神奈川

神奈川近代文学館

横浜市中区山手町 110
:045-622-6666

宇山雄二(文芸評論家)38号、土師清二(作家)40号 ほか
常設展示室では神奈川各地の風光をとり入れた作品や、神奈川ゆかりの作家の生涯や代表作を紹介。通常は非公開ながら宇山は自筆原稿、土師は葉書といったゆかりの人物の貴重な資料が収集・保存されている。阿川弘之(作家、10号)は現在顧問。

鎌倉文学館

鎌倉市長谷 1-5-3
:0467-23-3911

円地文子(作家)7号、里見 弴(作家)36号 ほか
常設展では鎌倉ゆかりの文学者の著書・原稿・書簡・愛用品等を展示。本館と敷地建物は旧前田公爵家の鎌倉別邸だったもの。

その他

奈良

石鼎庵

吉野郡東吉野村小(払)7
:07464-2-0441(東吉野村教育委員会)

原石鼎(俳人)20号
石鼎の暮らしぶりをしのばせる部屋や土間を公開。在りし日の写真などを展示。

東京

林芙美子記念館

新宿区中井 2-20-1
:03-5996-9207

林芙美子(作家)9号
昭和16年8月から昭和26年にその生涯を閉じるまで住んでいた家を公開。書簡や着物などゆかりの品々2500点以上収蔵。
・他にも・・・おのみち文学の館 文学記念室(広島県尾道市)

青森

羽仁もと子記念館

八戸市大字沢里字古宮 35-3
:0178-24-2232

羽仁もと子(教育者・記者)25号
出身地八戸に平成3年に開館。写真や遺品などが常設。二宮の友情庵で使用していた文机や火鉢なども展示されている。

新潟

安吾 風の館

新潟市中央区西大畑町 5927-9
:025-222-3062

坂口安吾(作家)12号
昨年7月に開館。大正時代に建てられた旧市長公舎を活用し、自筆原稿などの遺品を展示。
・他にも・・・坂口安吾記念館(大棟山美術博物館内)X新潟県十日町市)



神奈川

小田原文学館

小田原市南町 2-3-4
:0465-22-9881

坂口安吾(作家)12号
小田原ゆかりの文学者の作品や愛用品等を展示。白秋童謡館と尾崎一雄邸書斎も併設。建物は田中光顕伯爵の別邸だったもの。

北海道

北海道立文学館

札幌市中央区中島公園 1-4
:011-511-7655

武林無想庵(作家・翻訳家)24号
北海道ゆかりの文学者の作品や愛用品等を展示。無想庵関連では原稿や図書が常設。

愛媛

愛媛人物博物館

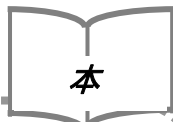
松山市上野町甲 650
:089-963-2111(代)

(愛媛県生涯学習センター内)
高橋新吉(詩人)32号
愛媛にゆかりの深い偉人・賢人の遺品などを一堂に展示。新吉関連では自筆の詩額や絵画など、ゆかりの品13点を収蔵。

11月～1月の新着本&DVD

2009年11月～2010年1月新着分より

(著編者/出版社/出版年月/請求記号)



本

画像
なし

『だから人は本を読む』
(福原義春/東洋経済新報社 /'09.9 / 019.0 ㊦)
経済界随一の読書家と言われる資生堂名誉
会長による文字・活字文化の継承に向けた提
言の書。自らの読書体験、読書術を紹介し、
人生を豊かにする読書の魅力と意義を提唱
しています。

画像
なし

『アサーション・トレーニング - さわやかな 自
己表現 のために - 改訂版』(平木典子/日
本・精神技術研究所/'09.9 / 361.4 ㊦)
アサーションとは、自分の思いを率直に表現し
ながらさわやかな人間関係を結ぶ方法。自他尊
重の自己表現をいくつかの実例を上げながら、
わかりやすく教えてくれる元気が出る一冊。

画像
なし

『おでかけトレイン - 1泊2日 - 』
(東京地図出版/'09.6 / TB 291.0 ㊦)
首都圏から 1泊2日で行けるローカル列車の
旅。うれしい!おいしい!たのしい!情報が、
いっぱい。のんびり走るローカル列車の写真
に心魅かれ旅に出かけたくくなります。

画像
なし

『木版画手習帖 - 手軽に楽しむ、小さな
道楽。かわいい木版画の作り方 - 』
(宇田川新聞/池田書店/'09.9 / 733 ㊦)
小さい頃図工の時間で習った木版画の魅力が
詰まっている本です。彫り方のコツや多色刷り
のポイントをわかりやすく紹介。著者の味わい
深い作品を見ているだけでも楽しめます。

画像
なし

『茶壺に追われて
- ほっこり宇治茶のこぼればなし - 』
(小山茂樹/淡交社/'09.9 / 619.8 ㊦)
茶道誌「淡交」の連載コラム「茶のこぼれば
なし」を加筆し書籍化。宇治で製茶にたずさ
わる著者が知っているようで知らない茶の
世界を語る。お茶にまつわるトリビアが満載。

画像
なし

『結婚小説』
(中島たい子/集英社 /'09.12/カ)
39歳、独身、売れない小説家の貴世が、取材
と称しつつも内心期待し蕎麦打ち合コンに参
加。遙か彼方にあった結婚が現実になった時、
貴世のとった行動は...?

展示テーブルから

2月の展示テーマ
春節

～中華街と身近な中国～

『素顔の中国
- 街と人と暮らし55話 - 』
(吉村澄代/かもがわ出版 /07'12 / 302.2 ㊦)

画像
なし

映像 DVD (出演者/収録時間/請求記号)

画像
なし

『長くつ下ピッピの冒険物語』
(タミー・エリン(ほか)/101分/778.2㊦)
自由奔放で豊かな感受性を持つピッピが画
面いっぱいに動きまわる楽しい映画です。
心躍る音楽も魅力的。リンドグレーンの原作
とはまた一味違うピッピの世界をのぞいて
みては。

「春節」をご存知ですか?春節は中国でいう旧正月の元旦です。中国では
旧暦でお正月を迎える習わしがあるのですが、春節は伝統的な行事の中で最
も重要かつ盛大な祝日であり、2010年は2月14日にあたります。

そこで2月は春節にちなみ、中華街や中国に関する本を集めました。展
示テーブルより紹介する1冊は『素顔の中国 - 街と人と暮らし55話 - 』
です。近年、中国に関する本の出版が増えていますが、日中関係の動向を反
映し、どちらかといえば批判めいた内容に傾きがちです。そんな中、著者は
数年北京で生活し、市民生活レベルの中国をありのままに伝えたいとこの本
を出版したそうです。等身大で、身近な中国を感じてください。

図書館講座を終えて

昨年11月に3回にわたって図書館講座「二宮を描いた作家たち～近現代文学を
中心に」を開催しました。町内外から延べ70名を超える参加者が集まり、熱心に
講師のお話に聞き入っていました。講師の石井敬士氏(二宮町図書館アドバイザー)による
お話は、二宮とその周辺の歴史から、二宮の時代的背景を踏まえ、二宮ゆかりの
人物の近現代文学者に絞って紹介されました。紙面で読む二宮ゆかりの人物とはまた
違った角度から知ることができたのではないかと思います。参加者からは「楽しい
内容でよくわかった。二宮という町により親しみを感じた。」等の感想をお寄せ
いただきました。

こどものほんコーナーから おすすめの1冊



画像
なし

『きかんしゃ1414』
いちよんいちよん

フリードリヒ・フェルト
偲成社
'79
㊦

働き疲れた老機関車1414が休暇を
もらい、こっそり夜のひとり旅に出かけ
ます。そして少年ペーターと青い星の花
を探すことに...。1414の刻むシュッ
シュッポッポツのリズムと冒険と友情に元
気をもらえます。

2010年は国民読書年です

本との出会い、探索の喜びを - 図書館は知識の宝庫 -



自分を引き込んでくれるような本に出会えば時を忘れてしまいます。

読書世論調査（読売新聞 2009.10/25 掲載）によれば、本を読む理由は、知識や教養を高める 46%、面白い 33%、趣味を生かす 28%（団塊の世代等が増加）、仕事に役立てる 19%の順となっています。また、人生観に影響を与える 66%、人生観を豊かにする 87%となっており、本は最高の役割を果たしています。

電子書籍やメディアの多様化等本離れがいわれ、一方で景気の悪化による新刊書の購入が減少しています。このような中で二宮町図書館の利用状況は県内のトップレベルを維持し続けています。1人年間10回以上の入館、10冊以上の貸出は県内では他にありません。

図書館の役割は読む本の提供だけでなく、調べることへの支援（レファレンス）も極めて重要です。子どもの調べ学習から、教養・趣味・生活・仕事等様々な事柄に対して資料をもとにお手伝いをしています。この中で地元に関する資料や情報を収集し、提供することは町を知る上で大切なことであり、図書館のもうひとつの役割、後世に伝える任務の重要な位置づけとして、町ゆかりの人物、郷土・行政資料を鋭意収集、保存して、利用者の方の質問、利用に対応するよう努めています。

本は、利用していただければいただくほどその効果はますます発揮されます。本に親しみ、豊かな情操を育み、今年をよく本を読んだと思える一年を過ぎていただきたいと思います。ますますのご来館お待ちしております。

〔二宮町図書館アドバイザー 石井敬士〕

ベストオーダー 2009年11月～2010年1月

この期間に予約が多かった本です

【一般書 ベスト10】

- 1 新参者 / 東野圭吾
- 2 体温を上げると健康になる / 斎藤真嗣
- 3 ハッピー・リタイアメント / 浅田次郎
- 4 半島へ、ふたたび / 蓮池薫
- 5 1Q84 1・2 / 村上春樹
- 6 小太郎の左腕 / 和田竜
- 7 SOSの猿 / 伊坂幸太郎
- 8 球体の蛇 / 道尾秀介
- 9 Another / 綾辻行人
- 10 無理 / 奥田英朗

ふう～ん

さつまいもから出る 白い液体は何？

さつまいもの切り口から出る白い液体は「ヤラピン」という樹脂成分で、食物繊維とともに便秘解消効果がある。



二宮ゆかりの人物

やまかわ しゅうほう 山川 秀峰 (日本画家)

今回は日本画家の山川秀峰を紹介します。秀峰は、この2月に生誕80年を迎える二宮ゆかりの作家山川方夫まさおの父でもあります。

山川秀峰(1898～1944本名:山川嘉雄)は明治31年4月3日京都に生まれました。3歳のとき東京に移り、模様師(染物の下絵描き)である父・玄治郎げんじろうに連れられ池上秀畝いけがみしゅうほのもとで花鳥画を習い、大正初期には鍋木清方かぶらぎきよかた入門し美人画を学びました。雅号の秀峰の秀は池上秀畝からもらったものです。大正4年、清方一門の作品発表機関として“郷土会”を創立、幹事として名を連ねます。大正8年第1回帝展で「振袖物語」が初入選し、以後帝展に入選を重ね第9回(昭和3年)「阿倍野」、第11回(昭和5年)「大谷武子姫」がそれぞれ帝展特選受賞しその実力が認められ、伊東深水、寺島紫明とともに清方門下の三羽鳥と称されました。その後も代表作となる「素踊」「序の舞」など新感覚の美人画を出品、昭和14年には深水とともに青衿会を結成し東京画壇での美人画の発展に功績を残しました。昭和10年代の純日本画雑誌「塔影」には多くの作品も掲載されているようです。また雑誌や時代小説の挿絵の世界でも活躍し、弟子には挿絵画家として人気を博した志村立美しむらたつみがあり、『きいちのぬりえ』で知られる鳶谷喜一つたやきいちは秀峰の「素踊」に衝撃を受け、絵描きになると決めたそうです。

昭和18年、疎開のことも考え、二宮の海岸近くに吉田五十八設計による平屋の家を建て、仕事場も移してそこで画筆をとりました。翌19年8月、父・玄治郎や妻子たち(方夫ら)も二宮の新居に疎開してきて共に暮らしはじめましたが、同年12月29日脳溢血により自宅で急逝しました。46歳という若さでした。山川方夫の作品『最初の秋』にはその当時のことが詳しく書かれています。

秀峰の作品の多くは空襲で焼失し、現存している絵画もホルルルや韓国の美術館など海外に散逸、国内でも福富太郎コレクションや東京国立近代美術館、目黒雅叙園などに幾つかある程度で、美術展の図録にある作品も限られています。昭和17年第5回新文展に出品した「月輪」が最後の官展出品作品となっています。二宮でどのような絵を描いていたのか今では知るすべもなく、画集等も発行されていないため多くの作品を見ることが出来ないのは大変残念です。

画像
なし

秀峰画「素踊」の一部
(『近代日本画の女性美展』表紙より)

このコーナーでは、二宮にゆかりのある人物や文学作品等をご紹介します。ここで紹介された人物や作品関連の情報がございましたら、図書館までお寄せください。

参考資料 『山川方夫全集 第7巻』(山川方夫/筑摩書房/2000/918.6ヤ7) 『大正シック展 - ホルルル美術館所蔵品より - 』(国際アート編/国際アート/2007/NY ヤマ) 『近代の美人画 - 目黒雅叙園コレクション - 』(京都書院/1988/NY ヤマ) 『20世紀物語日本画家事典』(油井一人編/美術年鑑社/1998/R721.0ユ) 『近代日本画の女性美展』(朝日新聞東京本社企画部編/1977/朝日新聞東京本社企画部)

お知らせ・お願い

住所や氏名、電話番号の変更がありましたらお知らせください

住所変更の場合は新規に登録された時と同様に住所・氏名が確認できるものが必要です。変更後の保険証・免許証・自分宛の郵便物等をお持ちください。

予約の多い本にはさむしおりを作成しました

スムーズにご利用いただくため、貸出時に予約ランキングトップ10の本に「次にお待ちの方がいますので、返却期限までにお返しください。」というしおりをはさんでいます。ご協力をお願いします。

予約の多い本の寄贈にご協力ください

特に図書館の予約ランキングトップ10の本の寄贈をお待ちしています。予約ランキングトップ10は館内掲示や図書館webサイトでご確認いただけます。

行事

くわしくはお問い合わせください。

2月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

■ 休館日

4月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	



ちいちゃいおはなし会
第2水曜日



おおきいおはなし会 小学生から
おはなし会とありがとうみあそび
第3土曜日



わらべうたであそぼう！
第3金曜日

にんぎょうげき大会

月日 3月22日(月・祝)

時間 午前10:30~11:30

場所 ラディアンミーティングルーム2

てぶくろ座と大きなたまごによる
人形劇です。

入場無料。事前申し込みは不要です。
直接会場へお越しください。
演目等の詳細は、3月号のお知らせ
版及び館内掲示にてご案内する予定
です。お楽しみに！！

展示テーマ

12月

一般 / 『歴史が好き～戦国時代編～』
児童 / 『メリークリスマス！』

1月

一般 / 『歴史が好き～幕末編～』
児童 / 『冬のおはなし』
『とら』(ミニ展示)
A V / 『氷上の華を彩る旋律～フィギュア
スケート日本代表選手使用曲～』

2月

一般 / 『春節～中華街と身近な中国～』
児童 / 『冬のおはなし』
『チョコレートのおはなし』
(ミニ展示)

特設展示

11月・・・『祝 まどみちおさん 百歳』(児童特設)
『日高敏隆さんをしのんで』

12月・・・『クリスマス・年末・お正月特集』
『平山郁夫さんをしのんで』

1月・・・『第142回芥川賞・直木賞発表』
『柴野拓美さんをしのんで』
『ロバート・B・パーカーさんをしのんで』
『北森 鴻さんをしのんで』

地域資料展示ケース【二宮ゆかりの人物】

1～3月・・・『二宮とダダの作家たち』
4～6月・・・『山川方夫生誕80年・父 秀峰』

書庫の本紹介コーナー

1～3月・・・『愛する』

ご協力ありがとうございます

図書館基金

1月末までの合計

3,141,146円

《月別合計》

1月の金額 **9,758円**

12月の金額 **1,004,312円**

11月の金額 **4,428円**



ひとつだけ ～編集後記にかえて～

今回の図書館だよりで紹介した『木版画手習帖』を読んで、図工の時間を思い出した。木がすーっと削られていく感覚が楽しくて彫らなくてもいいところまで彫っていたなあ～。バレンで擦るのも楽しかった。そういえば、バレンって何でバレンって言うの？これってふう～んで使えるかも……。

次号の発行は
5月15日、水～！

編集・発行 二宮町図書館

住所 二宮町二宮1240-10

☎ 0463-72-6913

ホームページ <http://www.ninomiya-public-library.jp/>

図書館だよりテープ版もあります！お問い合わせください。

